

## 11・10 中央行動&最賃闘争交流決起集会

### 最賃引き上げこそが景気回復への道と確信を!



11・10 中央行動は、生協労連のなかま180名、あらゆる団体のなかま3000人の参加で国民本意の要求実現めざして、元気に行動しました。

生協労連のなかまは、最低賃金1000円以上の実現・パート労働法の抜本改正・消費税増税反対を柱に、早朝宣伝行動、国会議員要請行動、厚生労働省交渉、中央総決起集会、各省庁前行動、最賃闘争交流決起集会にとりくみました。

新宿駅西口朝の宣伝行動



朝の宣伝行動には40名参加。最賃闘争本部のなかまが最賃1000円実現を訴えました。コープネット労組のなかまが最賃ソングを歌いだすと、道行く人たちが一斉に振り返っていました。

厚生労働省交渉

中央総決起集会



厚生労働省交渉では、全国最賃800円に向けては政労使合意に基づいて努力したい。(いつも回答はおなじだが…)A~Dのランク見直しは5年後!?!ととんでもない回答が。中小企業支援策は、今年度始まったばかりだが、必要な支援をしていけるように努力すること。各地域でどのような支援策が求められているか、地域の中小企業との懇談を追求していく必要があります。



中央総決起集会では、闘争本部を代表して、かながわの安部さんが発言。最賃裁判をとおして、時給1000円未満で働き生活している人たちの生の声を聞き、本気で最賃1000円以上に引き上げなければならないと思った。



集会の司会は闘争本部いずみの三枝さん。中央集会司会デビューでドキドキ。

最賃闘争交流決起集会

決起集会へは121名のなかまが参加し、全労連伊藤さんの学習講演をみんな真剣に聞いていました。これまでの私たちの運動に確信をもって、地域と一体となって運動をひろげようと確認し合いました。



各地のとりのくみの報告では、あいちの金野さんから、パ臨連で時給マップを作成したところ、昨年より今年は時給が低くなっている地域が増えていることが報告されました。